

研究課題：川崎病患者における Epstein-Barr ウイルス抗体保有率の特徴

1. 研究の目的

川崎病と EB ウイルス感染症との関係があるかどうかを調べることです。

2. 研究の方法

2013 年 4 月から 2016 年 3 月までに川崎病を含む熱性疾患（発熱、リンパ節炎や肝機能障害などで受診された生後 6 か月から 15 歳未満の）患者様が対象となります。診療録から、身体所見、血液検査結果、EB ウイルスの抗体価、EB ウイルス量（定量 PCR）、心エコー検査、治療内容等の情報を調べまとめます。

3. 研究期間

2026 年 3 月（倫理委員会で承認を得られた日）から 2029 年 3 月末まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録の記載から、症状、血液検査、尿や血液中のウイルス量、心臓超音波検査、治療内容などを調べまとめます。画像（個人情報は一切含まない）が論文内に掲載されることがあります。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター
研究責任者：感染免疫アレルギー科 科長 菅沼 栄介

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡

先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）